

情報公開文書

研究課題名	京都北部にて脳主幹動脈閉塞症患者において直接搬送された例と転院搬送された例の特徴
所属（診療科等）	国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経内科
研究責任者	上田 凌大
研究機関	この研究は国立病院機構舞鶴医療センター脳神経内科で実施します。
研究期間	2022年1月1日～2023年8月31日
研究目的と意義	脳梗塞は頭の血管が血の塊（血栓）が詰まる（閉塞する）ことによって発症する疾患です。そのなかでも太い血管（脳主幹動脈）が閉塞した場合は、症状は重篤化します。現在、脳主幹動脈閉塞症に対して、カテーテルにより血栓を除去する治療が推奨されていますが、手術までの時間が早い方が有効性が高いと言われています。当院へ直接搬送された患者様とほかの病院を経由して搬送された患者様の特徴を比較し、よりよい今後の治療につなげます。
研究内容	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さん； 当院で治療した脳主幹動脈閉塞症の患者様を対象とします。●利用する情報； 患者さんの背景（年齢、性別、基礎疾患など） 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。●研究の概要・方法；診療において必要であった、既にある情報（上記）を用いて解析を行います。
問い合わせ先	研究担当者氏名：上田 凌大（医師） 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経内科 住所：京都府舞鶴市字行永 2410 番地 電話：0773（62）2680 FAX 0773（63）5332